

区費検討委員会の設置について

口大野区

1 区費検討に向けた動き

区は令和2年度の事業計画において、「財源確保や区費のあり方等についての課題を検討し、負担割合等見直しへ向けスタートを切る。」ことを記載しており、区民に回覧板で周知済である。

2 検討する理由（目的）

毎年、区費査定にて区費を決定しているが、決定過程において明確な査定基準が無いこと、階層区分が15階層もあること、減免審査の基準が不明なことなど課題が多い。

査定過程における透明性を求める意見が区民から寄せられており、区財政の健全化を含め近年の生活様式にあった適正な区費のあり方について検討することとした。

3 区費検討委員会の設立

地区役員を中心に区民公募による委員で構成する区費検討委員会を立ち上げる。なお令和4年度分からの区費査定に用いる査定基準等を検討する。そのためには地区事業の検討も行う必要がある。

検討委員の構成は、1号：区長及び町内会長6名、2号：審議員選出5名、3号：区長が適当と認める者5名の16名以内の委員とする。3号委員のみ報酬有：3,000円/回

4 設置検討経過（本年度） *会議：町内会長会議、定例会：町内会長定例会、監査：定期監査

- ・4月7日（定例会）区費見直しや組織再編等の重要課題を情報共有し、取組み実施を決定
- ・5月12日（定例会）役員のみならず区民と一緒に検討。検討か諮問方式か。2年間協議
- ・6月4日（監査）区費検討することを報告。
- ・7月7日（定例会）検討方式を採用し役員以外は公募。令和4年度予算から適用
- ・8月3日（定例会）今月後半の回覧板で委員公募を予定。一方、審議員説明の指摘あり
- ・8月18日（福祉懇談会）出席者に区費見直しに取組むことを説明。
- ・8月30日（防災訓練終了後）審議員に対し区費見直方法と委員公募を説明。
- ・9月1日（定例会）9月後半回覧板で一般公募し10月中旬を締切。公募がなければ町内会長推薦により、区長と町内会長が依頼する。
- ・10月6日（定例会）検討委員会要綱協議。
- ・11月4日（会議）検討委員会設置要綱を承認。
- ・11月4日（定例会）一般公募無し。町内区民推薦者の報告。11月中に依頼完了
- ・12月1日（定例会）検討委員承認。初会議調整（12/16 19:30～）